

空港内従業員の「麻しん（はしか）」感染について

関西国際空港内での事業所において、従業員の「麻しん（はしか）」（以下 麻しん）への感染が発生している事例について、本日 14 時に大阪府から発表されました。

これを受けまして、当社ではお客様からの問い合わせ窓口として専用電話（072-455-2288）を開設いたしました。すでに、空港内事業所に対して、症状がみられる場合の勤務自粛と、医療機関を受診する際の注意点について周知しましたが、引き続き、大阪府泉佐野保健所や関係行政機関と協力し、感染拡大の阻止対策を敷いています。

麻しんが疑われる症状を発症した従業員には、接客業務に従事していた従業員も含まれています。麻しんはウイルスによって起こる感染症で、非常に感染力が強いといわれています。その潜伏期間は長くても 2 週間とされているため、8 月 17 日以降に関西国際空港をご利用されたお客様で、下記の症状があらわれた方は、医療機関にご連絡の上、その指示に従っていただくよう、ホームページ等を通じてお願いしています。

関西エアポート株式会社は、この感染の拡大を最小限にとどめるために、随時お客様に情報を公開して参ります。

麻しんに関する詳しい情報は、厚生労働省のホームページをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>

【麻しんの症状】

- 発熱、咳・鼻汁、皮膚の発疹、結膜の充血、口の中の斑など
- 全ての症状が出現するとは限りません。
- 発熱は、一旦下がっても半日から 1 日後くらいに再び高熱が出ます。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
Tel : 072-455-2201

麻しん(はしか)の集団感染について

代表連絡先	健康医療部 保健医療室医療対策課 感染症グループ ダイヤルイン番号:06-6944-9157 メールアドレス: jrvotaisaku- g03@gbox.pref.osaka.lg.jp
-------	---

提供日	2016年8月31日
提供時間	14時0分
内容	<p>大阪府内で複数の麻しん(はしか)の発生がありましたので報告します。</p> <p>8月17日、関西空港内にある事業所に勤務する20歳代女性が麻しんで入院中との報告を受けました。その後、泉佐野保健所が当該患者の調査を行い、接触者のうち有症状者について検査を行ったところ、8月31日10時現在で16人の麻しん陽性が判明しましたので報告します。</p> <p>陽性者の内訳は、20歳代の男性2人、女性10人、30歳代の男性1人、女性3人です。</p> <p>同保健所では、引き続き患者の発生状況について把握に努めるとともに、当該事業所に対し、麻しん患者接触者の有症状時の休業や早期の医療機関受診、受診の際の医療機関への事前連絡等、感染拡大防止に向けた指導をしています。</p> <p>府民のみなさまには、麻しんの疑いがある場合は、早めに医療機関を受診してください。その際には、事前に医療機関に電話し、麻しんの疑いがあることを伝え、指示に従ってください。また、相談は最寄の保健所に御連絡ください。</p> <p>「麻しんの疑い」があるのは次の場合です。</p> <p>症状(発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等)があり、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 麻しん患者と接触していた場合。 2 麻しん流行国(特にアジアの国々)への最近の渡航歴がある場合。 3 8月17日から30日の期間中、関西空港を利用した場合。
関連ホームページ	<p>大阪府ホームページ 麻しん(はしか)について</p> <p>大阪府感染症情報センターホームページ 麻しん情報</p> <p>厚生労働省ホームページ 麻しん・風しん</p>
資料提供ID	25078